

**【施策評価調査】**

施策名	1-2-5	道路管理台帳の整備(デジタル化)と運用		74	政策1-2. 利便性の高い道路網の形成を実現するために、①主要幹線道路(国・県道)を補完する道路ネットワークを形成します。②道路整備の必要性、効果についてわかりやすい情報開示を行い、住民との対話と情報の共有化を実現します。③住民参加による道路整備・維持・管理技法を確立します。④土地区画整理事業と連携して道路整備を進め、生活環境を向上させます。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	施設管理担当		
		リーダー	岡本 英男		
環境変化	特になし				道路管理業務の効率化を図るため、道路管理台帳のデジタル化を進めます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:道路管理台帳のデジタル化作業進捗率(%)	道路管理台帳・上水道台帳・下水道台帳データ入力	計画	42.0%	58.0%			
	0.0%	実績	↓ 0%	↓ 0%	↓ 0%	↓ 0%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	0	0	0	0	
	決算	0	0	0	0	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①道路台帳整備事業	当初	認定道路総延長	C	道路台帳の整備(デジタル化)を実施していないため、現在の管理は紙ベースの台帳で行っております。データ管理ではないため、照会等があったときの対応に時間がかかり、高いサービスは望めない。また、関係課での相互利用や情報の共有化は難しい状況にあります。			
	決算	— / 422キロ		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	廃止
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	現在は紙ベースでの管理であり、住民等からの照会に対しては時間がかかってしまう。また、台帳もかなり老朽化しており保管状態は適切ではない。更に情報の共有化や加工などの多目的な利用は望めない。	町が道路を管理していく上で、台帳のデジタル化は必要と思われる。住民等に対しても迅速に対応できるように、部分的な資料の提供や公共工事に伴ったデータの加工修正も簡易にできる。また、関係課との情報の共有化や公共事業などにも活用できる。
総合評価	期待した成果が出ていないと評価する。情報の一元化や共有するなど効率化を図る上では、有効な施策と成り得るものと判断する。 しかし、当施策は各課で整備されている上下水道や他の占有物件と一元化した道路台帳として管理(デジタル化)ができないか、検討することとしていたが、まずは紙ベースで保管している道路台帳の整備を優先して検討するものとし、後期計画においては施策の廃止を検討すること。	